

令和4年度 学校評価のまとめ

取組	項目	自己評価			自己評価に対する学校の分析・考察	学校運営協議会委員の意見																						
		4段階評価の人数の割合(%)				4段階評価の平均		評価平均	意見・感想																			
		生徒	保護者	教師		生徒	保護者			教師																		
学力の向上	① 授業の内容をしっかりと理解できていると思う。	<table border="1"> <tr><th></th><th>生徒</th><th>保護者</th><th>教師</th></tr> <tr><td>■おおむね</td><td>22.5</td><td>20.1</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>■ある程度</td><td>64.6</td><td>51.5</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>■あまり</td><td>11.5</td><td>25.4</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>■ほとんど</td><td>1.4</td><td>3.0</td><td>0.0</td></tr> </table>		生徒	保護者	教師	■おおむね	22.5	20.1	0.0	■ある程度	64.6	51.5	100.0	■あまり	11.5	25.4	0.0	■ほとんど	1.4	3.0	0.0	3.1	2.9	3.0	<p>○ 我が子が、授業についていけていないのではないかと不安に思う保護者が見られる。学習内容の理解については関心が高く、もっと理解してほしいと感じているのではないかと。</p> <p>○ 教えている側（教師）は生徒の理解度の幅があることを考慮しないと行けないのではないかと。「あまり」「ほとんど」と答えている生徒への支援方法を考えていきたいと思います。</p> <p>○ 生徒自身の評価が高い傾向にあることは、先生方の取組の成果であるといえる。保護者の「あまり」という評価が多いところは、まだまだ頑張ればできるという期待の表れではないかと感じる。</p> <p>○ 教師は、おおむね理解できているの回答で100%になっている。生徒の割合も多いが、理解できていない生徒もいる。</p>	3.0	<p>○ 生徒の個人差はあると思うが先生方の努力は感じられる。</p> <p>○ 保護者や生徒は個人の評価であるが、先生方の評価は全体的に見ての評価だと思う。生徒の理解は、それぞれ違うので、一人ひとりに合せた取組を行う方が良いが、難しい部分もあるので、先生、友達に聞ける環境がもっとあるのではないかと。</p> <p>○ 9.2%の生徒が家庭学習に毎日取り組むことができているが、授業内容をしっかりと理解できている生徒が2.2%、ある程度が6.4%である。ノートをうるだけの家庭学習より、問題集を取り組んでみてはどうか。</p> <p>○ 僅かな時間での授業参観の中でも、全般的に比較的落ち着いた雰囲気での授業が行われている印象を持ちました。生徒たちの先生に対する反応もいいと感じられました。特に、ある教科でグループとなり、先生の課題に対して生徒の間で互いに訪ね、教える様子には活気がみられました。一方的な知識の伝授とは違うものがあるように思いました。</p> <p>○ 2月4日に開催されました令和4年度「都城教育の日」推進イベントに参加し、小出泰久氏の講演の中で、パソコンを導入した事例の紹介があり、先生が生徒の理解度を把握するために、ネットワークを通じて報告させて全員の理解度を次の授業にフィードバックさせることに、生徒どうしでもネットワークにより生徒それぞれの考え方や理解度を知ることができ、クラス及び学年も向上し、最終的には学校全体がレベルアップになる。このようなことから、パソコン導入による教育改革の時代に入っているとの認識を持ちました。</p> <p>○ 授業内容の理解度に関しては、教師の評価が高いのはどのように解釈したらよいのだろうか。</p> <p>○ 分からないことを先生や友達に尋ねるなど「学び合い」が定着しているのは素晴らしいことだと思う。</p> <p>○ 授業で分からないところを先生や友達と話し合える様子がうかがえた。</p> <p>○ コロナ禍でもそれぞれ工夫された授業が行われ学校、先生、生徒が一体となった姿が目に見えた。</p> <p>○ 特に、3年生は目標をしっかりと立て、それぞれに向かって頑張っている様子がうかがえた。</p>
		生徒	保護者	教師																								
	■おおむね	22.5	20.1	0.0																								
	■ある程度	64.6	51.5	100.0																								
■あまり	11.5	25.4	0.0																									
■ほとんど	1.4	3.0	0.0																									
② 授業の内容で分からないことに時間をかけて取り組むことができた。	<table border="1"> <tr><th></th><th>生徒</th><th>保護者</th><th>教師</th></tr> <tr><td>■おおむね</td><td>22.0</td><td>11.3</td><td>6.3</td></tr> <tr><td>■ある程度</td><td>54.1</td><td>44.6</td><td>75.0</td></tr> <tr><td>■あまり</td><td>22.5</td><td>38.7</td><td>18.8</td></tr> <tr><td>■ほとんど</td><td>1.4</td><td>5.4</td><td>0.0</td></tr> </table>		生徒	保護者	教師	■おおむね	22.0	11.3	6.3	■ある程度	54.1	44.6	75.0	■あまり	22.5	38.7	18.8	■ほとんど	1.4	5.4	0.0	3.0	2.6	3.1	<p>○ 分からないところをそのままにしている生徒が少ないように思われる。</p> <p>○ 保護者は生徒に対して分からないところを時間を掛けて取り組んでいると思っていない。「時間をかける」ことのできる機会や方法を教師と生徒や家庭が共通理解していくべきだと感じます。</p> <p>○ 保護者の評価が低い傾向にあるのは、授業時間内で時間をかけて取り組むことができているという評価ではないかと感じる。</p> <p>○ 平均は、生徒と教師はほとんど変わらないが、内訳では時間をかけて取り組んでいない生徒は23.9%もいる。</p>			
	生徒	保護者	教師																									
■おおむね	22.0	11.3	6.3																									
■ある程度	54.1	44.6	75.0																									
■あまり	22.5	38.7	18.8																									
■ほとんど	1.4	5.4	0.0																									
③ 授業で自分の分からないところがあつたら、先生や友達に尋ねることができた。	<table border="1"> <tr><th></th><th>生徒</th><th>保護者</th><th>教師</th></tr> <tr><td>■おおむね</td><td>48.8</td><td>15.8</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>■ある程度</td><td>33.5</td><td>41.8</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>■あまり</td><td>13.4</td><td>30.9</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>■ほとんど</td><td>4.3</td><td>11.5</td><td>0.0</td></tr> </table>		生徒	保護者	教師	■おおむね	48.8	15.8	0.0	■ある程度	33.5	41.8	100.0	■あまり	13.4	30.9	0.0	■ほとんど	4.3	11.5	0.0	3.3	2.6	3.0	<p>○ 生徒自身は分からないところの認識がそれぞれの立場で異なるように思われる。</p> <p>○ 分からないところを生徒や友達に聞ける生徒は固定化されているのではないかと。</p> <p>○ 保護者の回答が低いのは、尋ねていたとしてもわかっていないと感じているせいかと。「尋ねる」と「わかる」との差を埋めていきたい。</p> <p>○ 分からないことを先生や友達に尋ねた生徒が8割を超えていることから、自ら解決したいと思っている生徒が多いことが分かる。</p> <p>○ 生徒の評価が比較的高いのは、「学び合い」に取り組まれている成果ではないかと感じる。</p> <p>○ 教師は、ある程度できているで100%になっている。若干の生徒ではあるが、分からないままにしている生徒がいる。</p>			
	生徒	保護者	教師																									
■おおむね	48.8	15.8	0.0																									
■ある程度	33.5	41.8	100.0																									
■あまり	13.4	30.9	0.0																									
■ほとんど	4.3	11.5	0.0																									
④ 宿題や宅習などの家庭学習に毎日取り組むことができた。	<table border="1"> <tr><th></th><th>生徒</th><th>保護者</th><th>教師</th></tr> <tr><td>■おおむね</td><td>63.6</td><td>48.5</td><td>37.5</td></tr> <tr><td>■ある程度</td><td>28.7</td><td>37.0</td><td>62.5</td></tr> <tr><td>■あまり</td><td>4.8</td><td>13.3</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>■ほとんど</td><td>2.9</td><td>3.6</td><td>0.0</td></tr> </table>		生徒	保護者	教師	■おおむね	63.6	48.5	37.5	■ある程度	28.7	37.0	62.5	■あまり	4.8	13.3	0.0	■ほとんど	2.9	3.6	0.0	3.5	3.3	3.4	<p>○ 教師が毎日の提出状況をしっかりと把握できている。提出できない生徒は固定化しているの、できていない生徒は自覚しているのだろうか。保護者からするとその内容などに不安があるか、家で学習する姿を確認していないのではないだろうか。</p> <p>○ 他の結果を見ると宿題や宅習に取り組んでいるだけになってしまっているのではないかと。</p> <p>○ 生徒の回答から、手を付ければ「取り組んだ」と考えている傾向がうかがえる。取り組む「内容」を充実させていくことが今後の課題だと思う。</p> <p>○ 宅習の取組では、生徒はおおむねできているが多い。教師は、ある程度できているが多く宅習の内容で差がついていると思う。</p>			
	生徒	保護者	教師																									
■おおむね	63.6	48.5	37.5																									
■ある程度	28.7	37.0	62.5																									
■あまり	4.8	13.3	0.0																									
■ほとんど	2.9	3.6	0.0																									

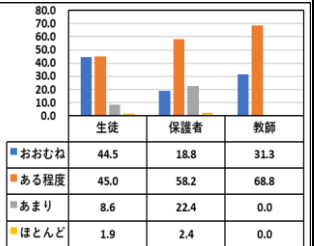
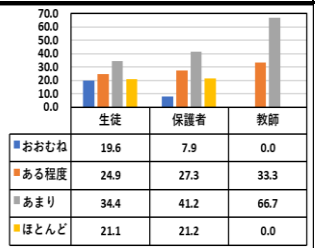
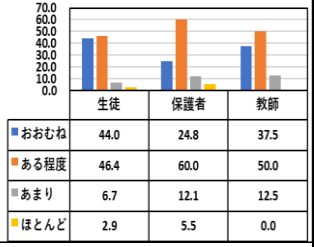
令和4年度 学校評価のまとめ

取組	項目	自己評価			自己評価に対する学校の分析・考察			学校運営協議会委員の意見																				
		4段階評価の人数の割合(%)						評価平均	意見・感想																			
		生徒	保護者	教師	生徒	保護者	教師																					
心豊かな生徒の育成	⑤ 自分のことを大切に思い、相手のことも思いやる心が身についた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生徒</th> <th>保護者</th> <th>教師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ おおむね</td> <td>55.5</td> <td>39.4</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>■ ある程度</td> <td>42.1</td> <td>56.4</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>■ あまり</td> <td>2.4</td> <td>5.5</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>■ ほとんど</td> <td>0.0</td> <td>1.2</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>		生徒	保護者	教師	■ おおむね	55.5	39.4	31.3	■ ある程度	42.1	56.4	68.8	■ あまり	2.4	5.5	0.0	■ ほとんど	0.0	1.2	0.0	3.5	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の意識と実際の行動の認識の差が現われているのではないかと。自分では分かっているが自分の行動を客観的にみることができていない。</li> <li>○ どのカテゴリーにおいても評価が高いが、生徒と保護者の「あまり」「ほとんど」に数値が付いていることを教師側は理解しなければならぬ。</li> <li>○ ほとんどの生徒が好意的に答えているので、普段の活動や保護者の教育が功を奏していると考えられる。</li> <li>○ 生徒は、おおむねできていが多いが保護者、教師はある程度が多い。言葉遣いなどからそう思われるのかもしれない。</li> </ul>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考える子供ができていないと感じた。</li> <li>○ 声が小さくても、挨拶をしてくれているので、気持ちが伝わってくる。しかし、挨拶をするのが難しい生徒がいるのではないかと感じる。</li> <li>○ 先輩に対する言葉遣いが気になる時がある。</li> <li>○ 挨拶や言葉遣いについて、生徒はできているという意識のようだが、教師はある程度できているとの評価である。教師側が不足に思うところを具体的に生徒に伝え、全体的に目指す像を共有してみてください。</li> <li>○ 「百人一首大会」では1年生と3年生の対戦を主に見学しましたが、3年生は1年生を侮らず、1年生は3年生に敬意を持って接していたように感じられました。違う年代(?)の生徒たちが直に同じ問題のもとで向き合う機会は今後も大事にしていく必要があると思いました。</li> <li>○ また、「立志式」では、皆の前でためらうことなく座右の銘について自信を持って話す姿が頼もしく感じました。</li> <li>○ 勉強も大事だが、部活動等を通じて相手を思いやる心を身につけることも大事であることから、学校側としても部活動の指導等、土・日・祭日も練習試合で大変と思われるが、文武両道の観点からも協力をお願いしたい。</li> <li>○ 登下校時や授業参観日などのみの評価になるが、挨拶は大変良いと思う。小学生よりも中学生の方が良い。</li> <li>○ 生徒同志の仲がとてもよいように見受けられる。</li> <li>○ コロナ禍での体育大会など状況に応じた取組が生徒を中心に行われ、生徒達の連帯感を感じた。制限が厳しい中での生徒間の友情の大切さを具体的日常の会話の大切さ等、それぞれが共有化できている。</li> <li>○ 挨拶がしっかりできる生徒が多くなってきた。</li> <li>○ 弱者に対する思いやりを大切にしている生徒達であると感ずる。</li> </ul>
		生徒	保護者	教師																								
	■ おおむね	55.5	39.4	31.3																								
■ ある程度	42.1	56.4	68.8																									
■ あまり	2.4	5.5	0.0																									
■ ほとんど	0.0	1.2	0.0																									
⑥ 遅刻や欠席のない規則正しい生活習慣が身についた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生徒</th> <th>保護者</th> <th>教師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ おおむね</td> <td>66.0</td> <td>61.2</td> <td>43.8</td> </tr> <tr> <td>■ ある程度</td> <td>27.3</td> <td>35.8</td> <td>56.3</td> </tr> <tr> <td>■ あまり</td> <td>6.2</td> <td>3.6</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>■ ほとんど</td> <td>0.5</td> <td>1.8</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>		生徒	保護者	教師	■ おおむね	66.0	61.2	43.8	■ ある程度	27.3	35.8	56.3	■ あまり	6.2	3.6	0.0	■ ほとんど	0.5	1.8	0.0	3.6	3.5	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほとんどの生徒はよくできていると思われる。</li> <li>○ 家庭での規則正しい生活習慣に課題があるのではないかと。</li> <li>○ 多くの生徒が遅刻せずに規則正しく生活できている。今後も家庭と連携していきたい。</li> <li>○ 生徒、保護者共におおむねと答えている人数がほぼ同じである。家庭の協力がみられる。しかし、まだ生活習慣が身につけていないと思われる保護者、自己反省をしている生徒もいる。</li> </ul>			
	生徒	保護者	教師																									
■ おおむね	66.0	61.2	43.8																									
■ ある程度	27.3	35.8	56.3																									
■ あまり	6.2	3.6	0.0																									
■ ほとんど	0.5	1.8	0.0																									
⑦ 先生や友達にしっかりとした「あいさつ」と適切な「言葉遣い」ができた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生徒</th> <th>保護者</th> <th>教師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ おおむね</td> <td>61.2</td> <td>37.0</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>■ ある程度</td> <td>35.9</td> <td>58.2</td> <td>81.3</td> </tr> <tr> <td>■ あまり</td> <td>2.9</td> <td>6.1</td> <td>6.3</td> </tr> <tr> <td>■ ほとんど</td> <td>0.0</td> <td>0.6</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>		生徒	保護者	教師	■ おおむね	61.2	37.0	12.5	■ ある程度	35.9	58.2	81.3	■ あまり	2.9	6.1	6.3	■ ほとんど	0.0	0.6	0.0	3.6	3.3	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挨拶の状況はよい。</li> <li>○ 「あまり」の数値において、保護者・教師と生徒の数値とで差があることから、生徒は挨拶や言葉遣いが出てきていると思っても、そうではないということが分かる。</li> <li>○ 生徒の評価が高いので、今できていることを称賞しつつ、さらに場に応じた言葉遣い等を自ら考え工夫できるようにさせていきたい。</li> <li>○ 生徒は、おおむね出来ていると思っているが、保護者や教師から見るとまだ不十分であると思われる。挨拶や言葉遣いについては、今後も指導が必要。</li> </ul>			
	生徒	保護者	教師																									
■ おおむね	61.2	37.0	12.5																									
■ ある程度	35.9	58.2	81.3																									
■ あまり	2.9	6.1	6.3																									
■ ほとんど	0.0	0.6	0.0																									

令和4年度 学校評価のまとめ

取組	項目	自己評価			自己評価に対する学校の分析・考察			学校運営協議会委員の意見																				
		4段階評価の人数の割合(%)			4段階評価の平均			評価平均	意見・感想																			
		生徒	保護者	教師	生徒	保護者	教師																					
保健安全指導の推進	⑧ ゲームや携帯のルールを守り、翌日の学校生活のさまたげにならなかった。	<table border="1"> <tr><th></th><th>生徒</th><th>保護者</th><th>教師</th></tr> <tr><td>■おおいね</td><td>55.0</td><td>23.0</td><td>18.8</td></tr> <tr><td>■ある程度</td><td>37.3</td><td>47.9</td><td>56.3</td></tr> <tr><td>■あまり</td><td>6.7</td><td>28.5</td><td>25.0</td></tr> <tr><td>■ほとんど</td><td>1.0</td><td>3.0</td><td>0.0</td></tr> </table>		生徒	保護者	教師	■おおいね	55.0	23.0	18.8	■ある程度	37.3	47.9	56.3	■あまり	6.7	28.5	25.0	■ほとんど	1.0	3.0	0.0	3.5	2.9	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒と保護者・教師とで数値のギャップが大きすぎる。ルールや使い方において困っている家庭が多いのではないかと。</li> <li>○ 生徒の評価と保護者や学校の評価の差から、意識の差がうかがえる。今後も継続した指導が必要であると思われる。</li> <li>○ 他の項目に比べると、「あまり」と回答した割合が高いことから家庭でのルール作りやルールを守ることへの取組みを行う必要がある。また生徒自身にはその認識が低いことも問題である。</li> <li>○ 生徒と、保護者や教師との回答の差がある。特に保護者は、家庭での過ごし方を見ているので、できていないという数値が多いと思われる。家庭でのルールを保護者と共に確認する指導が必要と思われる。</li> </ul>	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若干帰宅時に横並びで帰る子達を見うけられたが…。</li> <li>○ 生徒はできていると思っているが、保護者、先生との差がある。生徒へ本当にルールが守られているのかどうか問いかけていく必要があるのではないかと。先生だけでなく、保護者の声かけ、指導が、一番大切になってくるのではないかと。</li> <li>○ 通り返りで出会った生徒からのいきいきした挨拶は、小学生とは違う、これから大人に近づく一歩を感じさせられ、こちらも自然と挨拶を返して、地域の方々も多くはそうした気持ちを持つのではないかと思います。 制限下の郊外で見かけた生徒たちの多くは定められたとおりマスクの着用をしていましたが、今後マスクの取り扱いが変わる中で、手洗いなどは「なれ合い」でも習慣化していくことが大事だと思いました。</li> <li>○ ゲームや携帯の長時間使用で授業中眠そうになるなどあれば、先生から保護者へ伝えてもらってもいいのではないかと。</li> <li>○ 先生や保護者は生徒の全ての行動が把握できる訳ではなく、生徒同士で時間を忘れてゲーム等をやっていると思われるので、保護者がある一定のルールを作ってやるべきではないか。</li> <li>○ ゲームや携帯の管理が1番の問題になると思うが、保護者と生徒間の決め事が大事なのでは。</li> <li>○ 1日の生活リズムをしっかり守っている子供は、学校での遅刻や授業中のいねむりもないように、常日頃から家庭で、学校で、自分自身の日課を正しく知る必要があると思われる。そしてその事を確実に実行できる子供が、自立心をもつことができ、責任感がでてくる。</li> </ul>
		生徒	保護者	教師																								
	■おおいね	55.0	23.0	18.8																								
■ある程度	37.3	47.9	56.3																									
■あまり	6.7	28.5	25.0																									
■ほとんど	1.0	3.0	0.0																									
⑨ マスクの着用と消毒を徹底し、感染症に対する行動ができた。	<table border="1"> <tr><th></th><th>生徒</th><th>保護者</th><th>教師</th></tr> <tr><td>■おおいね</td><td>82.8</td><td>63.0</td><td>68.8</td></tr> <tr><td>■ある程度</td><td>15.8</td><td>37.0</td><td>25.0</td></tr> <tr><td>■あまり</td><td>1.0</td><td>1.8</td><td>6.3</td></tr> <tr><td>■ほとんど</td><td>0.5</td><td>0.6</td><td>0.0</td></tr> </table>		生徒	保護者	教師	■おおいね	82.8	63.0	68.8	■ある程度	15.8	37.0	25.0	■あまり	1.0	1.8	6.3	■ほとんど	0.5	0.6	0.0	3.8	3.6	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染対策は十分に出来ているのではないかと。</li> <li>○ 概ねよいと思われる。</li> <li>○ 感染症に対しての行動は、ある程度できている。教師のあまりできていないとの回答は、最近の生徒の様子からマスク着用や消毒がなれ合いになっているからだと思われる。</li> </ul>			
	生徒	保護者	教師																									
■おおいね	82.8	63.0	68.8																									
■ある程度	15.8	37.0	25.0																									
■あまり	1.0	1.8	6.3																									
■ほとんど	0.5	0.6	0.0																									
⑩ 「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけ、規則正しい生活を送ることができた。	<table border="1"> <tr><th></th><th>生徒</th><th>保護者</th><th>教師</th></tr> <tr><td>■おおいね</td><td>51.7</td><td>29.7</td><td>25.0</td></tr> <tr><td>■ある程度</td><td>39.2</td><td>49.7</td><td>62.5</td></tr> <tr><td>■あまり</td><td>9.1</td><td>21.2</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>■ほとんど</td><td>0.0</td><td>1.8</td><td>0.0</td></tr> </table>		生徒	保護者	教師	■おおいね	51.7	29.7	25.0	■ある程度	39.2	49.7	62.5	■あまり	9.1	21.2	12.5	■ほとんど	0.0	1.8	0.0	3.4	3.0	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒は出来ていると思っても、保護者はそうではないと思っている。</li> <li>○ 生徒の評価と保護者や学校の評価の差から、意識の差がうかがえる。</li> <li>○ 保護者のあまり・ほとんどできていないという回答が多くみられる。家庭での規則正しい生活に関しては、保護者の責任になる。⑧との関連も影響しているのではないかと。</li> </ul>			
	生徒	保護者	教師																									
■おおいね	51.7	29.7	25.0																									
■ある程度	39.2	49.7	62.5																									
■あまり	9.1	21.2	12.5																									
■ほとんど	0.0	1.8	0.0																									

令和4年度 学校評価のまとめ

取組	項目	自己評価			自己評価に対する学校の分析・考察	学校運営協議会委員の意見	
		4段階評価の人数の割合(%)				評価平均	
					生徒	保護者	教師
家庭、地域との連携	⑪ 将来の進路や生き方、自分の住む地域の良さを学ぶことができていると思う。		3.3	2.9	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年、総合で良く取り組んでいる。</li> <li>保護者の「あまり」の数値が高いことから、生徒は家庭で将来や進路の話あまりしていないのではないか。</li> <li>生徒の評価と保護者や学校の評価の差から、意識の差がややうかがえる。今後はさらに地域の良さを学ぶ機会を保障していくべきである。</li> <li>キャリア教育を1年生からしっかり取り組んでいる成果ではないかと感じる。</li> <li>教師は、学活や総合学習を通して学ぶ機会があると感じているが、保護者はあまり・ほとんど感じていないが24.8%いる。もっと保護者に知らせていくと必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のためだけれどもこれは仕方のない事だと思う。</li> <li>コロナで地域の行事の中止が多く参加できなかった。</li> <li>行事があっても、部活動等を優先するので、参加が難しい。</li> <li>運動会での、看護ボランティアは、近くで見られる仕事ではないかと感じた。保護者は色々な専門の仕事をしているので、色々な場面でボランティアを募るのは、生徒が様々な仕事を見る良い機会だと思う。</li> <li>地域の行事に学校単位で参加するのは難しいと思う。学年でボランティア活動をするなど、地域との関わりを持ってほしいと思う。</li> <li>ここ3年間地域の公民館などの活動が新型コロナのために自粛され、生徒たちも参加がかなわない面があると思いますが、今後は、まず学校側(協議会委員も含む)が主体となり、地域からの様々なイベント等の情報を提供してもらおうよう依頼し、さらに生徒たちに対しては積極的な参加を呼び掛けるとともに、加えて地域に対しても生徒の参加を容易にするような受け入れを促していくことが必要だと思います。</li> </ul>
	⑫ 地域の行事に参加することができた。		2.4	2.2	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事のようすについては、教師側はなかなか把握が難しい。コロナや部活動などで参加もしにくくなっているのではないだろうか。</li> <li>地域の行事には今後積極的に参加していくよう呼びかけが必要である。</li> <li>学校と家庭の評価の差が見られるが、学校が把握していないのか、気になる。学校としてはさらに地域と連携を図る必要があると考えさせられる。</li> <li>地域の行事が行われているかはよくわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我々の地域では、コロナ禍になる前は地域での「収穫祭」の行事で地域住民等と一緒に取り組んでいる。また、通学時や地域で会っても挨拶はほとんど全員の生徒ができています。</li> <li>将来の進路等について、学校の分析では、生徒は家庭であまり話をしていないのではと有るが、保護者の意識の問題ではないかと思う。食事の時など、保護者が自分の仕事や職場に関する事や知人等の仕事の事など、今後の世界情勢の変化等を生徒に話して聞かせることが大事だと思います。保護者の意識付けのためには、学校側から機会あるごとに話してもらったり周りの大人達も保護者に語りかける努力をしないといけないと考えています。キャリア教育の時間は都合のつく保護者も参加できるようにしたらよいと思います。</li> </ul>
	⑬ 学校HPや校長室だより、学年・学級通信その他の文書を通して学校の事情がきちんと伝わっていると思う。		3.3	3.0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>sigfyなど、ネットの活用で学校の情報が伝わりやすくなった。</li> <li>学校側は、文書を配布しているが、全家庭にきちんと伝わっているわけではないので、様々な手段を使って行く必要がある。</li> <li>学校の努力を評価していただけていると思う。加えて、文書だけでは説明できない個々に応じた説明等にも力を注ぎたい。</li> <li>生徒は、おおむね・ある程度で90.4%で、保護者に通信等を見せている生徒が多い。保護者の回答では、あまり・ほとんどが17.6%で伝わっていない家庭もある。今後も、必ず保護者に見せる指導をしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との連携に関しては、コロナも緩んできているので、コロナ以前に実施していたように、各地区ごとに公民館長を囲んで地区の特徴や行事等の紹介や説明をしてもらおうよいと思います。公民館長も自分の地域の生徒の顔を知ることができると思います。(館長だけでなく、地区役員さんも来てもらっては)</li> <li>毎週の校長室だよりは素晴らしいです。校長自らいろいろと勉強されて、保護者や生徒に伝えられる姿に読む側も発奮するのではないのでしょうか。</li> <li>地域、家庭でもいろいろな制限をうけながらも積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。</li> <li>伝統文化や歴史を学ぶことで子ども達が故郷を愛する心を育ててほしい。</li> <li>課外授業も今以上に積極的に取り組んでほしい。</li> </ul>